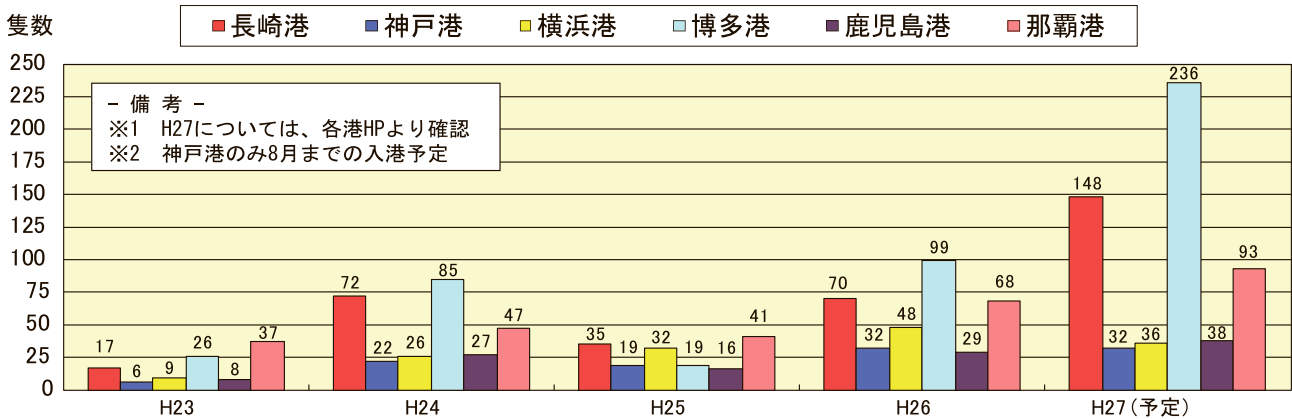


# ● みなとづくり

## 1 クルーズ観光の拡大を図り長崎の経済を活性化 問合せ先 港湾課

長崎港は、近年、観光産業への経済波及効果が期待出来る大型クルーズ客船の入港が増加しています。このため、平成27年度は、大型クルーズ客船の更なる寄港数の増加に対応できるよう、松が枝ふ頭の拡張を実施することを目指します。

### ■ 主要観光港の外国籍クルーズ客船入港実績



### 長崎国際ゲートウェイ事業

クルーズ客船の外国人乗客は限られた時間での寄港地観光となります。不慣れな地理や言語など課題も多いことから、長崎港での効率的な観光とスムーズなターミナル帰着を促す案内アプリを開発しました。



長崎港港湾計画の改訂(イメージ)



松が枝ふ頭拡張



大型クルーズ船を係留するふ頭が1箇所のみであり、**2隻同時係留が出来ない**



大型クルーズ船の**2隻同時係留が可能となり**、観光による**大きな経済波及効果**が期待できる

## 2 離島・半島等の暮らしを支える地域交通の確保

問合せ先 港湾課

離島と本土等を結ぶ定期航路の安定的な海上運輸活動を支え、安全・効率的で利便性が高いみなと整備を進めます。

### 口ノ津港の定期船ふ頭整備



老朽化した施設を更新し、**効率的で安定した**輸送手段を確保

### 厳原港のふ頭再編(旅客ふ頭の整備)



#### 事業概要

事業主体：長崎県・国土交通省・対馬市  
 事業期間：平成24年度～平成29年度完成目標  
 総事業費：約40億円

ふ頭再編整備による旅客船利用者の**満足度向上**を目指します。

近年、対馬への韓国人観光客が著しく増加している。  
 ※平成26年は過去最高の約19.8万人

観光客で賑わいを見せるふ頭(厳原港)

